

## 山口県水泳連盟主催大会における新型コロナウイルス感染防止対策

山口県水泳連盟主催大会への参加に際しては、下記事項を必ず順守していただきますようお願いいたします。なお、開催要項に記載のとおり、今後の感染状況によっては、中止や延期、参加制限など大会内容を変更する場合がございます。また、大会施設の利用条件を満たすことができない場合も、同様となります。

・大会前に入館者全員が以下の内容に同意してから、参加する。

### 同意内容

- 1 (公財) 日本水泳連盟の感染拡大予防ガイドライン、(公財) 日本スポーツ協会感染防止策チェックリスト、山口きらら博記念公園の施設貸出時の感染防止策チェックリスト・大会で使用する施設の対策及び当連盟大会開催要項・詳細資料・本紙に記載されている注意事項を厳守し、主催者の指示に従う。
- 2 大会終了後 10 日以内に陽性者が発生した場合は、本連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

・入館7日以内から以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。

- 平熱以上の高熱（概ね37.5℃以上）
- 咳・のどの痛みなどの風邪等の症状（花粉症は除く）
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ       味覚や嗅覚の異常
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 1 4 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

・大会日から遡って、7 日以内に濃厚接触者となった場合は、該当者の来場・出場を禁止する。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは地方自治体の方針に従う。

・大会日から遡って、7日以内に練習場所および練習時間を同じくするチーム関係者から、陽性者が発生した場合は該当者及びその濃厚接触者になった者は来場・出場を禁止する。なお、同じチームのその他の選手・引率者は原則来場72時間以内（正当な理由がある場合は最長1週間以内）のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認することができたら出場は可能とする。（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要）

・大会によって、無観客・有観客大会を決定する。有観客の場合は、エントリー締め切り後、人数調整・制限を行う。

- ・開場時の時間差入場・アップを時間差で行う。
- ・観客席の事前割振り（固定）を行い、観客席の間隔を広くする。（座る座席の制限も行う）
- ・控え場所がある場合・ストレッチスペースでは個人使用のシートのみ利用可能とし、チーム共有のシートの使用を禁止する。
- ・参加人数が多数の場合、臨時更衣室を設ける。状況を見て、利用人数制限を行う。
- ・招集所 3 密を回避するためのレイアウトで行う。
- ・消毒液を施設内各所に設置する。
- ・3 密状態回避の注意喚起のため、館内に資料の掲示や電光掲示板案内表示や通告を行う。
- ・競技役員はマスク（品質確かな、出来れば不織布）、フェイスシールドの着用を徹底する。
- ・入館者全員に大会 2 日前からの健康チェック表を提出してもらい、入館者の情報調査を行う。
- ・入館者全員に大会 2 週間前からの健康チェック・行動歴の記載、大会 2 週間後までの保管をお願いする。
- ・受付・招集所・通告のビニールカーテン・アクリル板による遮蔽を行う。
- ・定期的に窓や扉を開放して換気を徹底する。
- ・厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を携帯にインストールすること。（携帯を持っていない又はインストール出来ない機種は除く）
- ・チーム関係者（選手・コーチ・帯同競技役員）はマスク（品質確かな、出来れば不織布）を必ず持参し、泳いでいるとき・食事をするとき以外は必ず着用すること。マスクを外しているときは、会話を慎む。
- ・こまめな手洗い、手指消毒を行うこと。
- ・他の選手やコーチ、競技役員等、観客同士との距離（2 m 以上、最低 1 m 以上）を確保すること。
- ・交通機関内での感染を防ぐため、移動車内での飲食をなるべくしない、常時マスクの着用、各自で消毒用品を持ち歩く等を徹底すること。
- ・昼食・補食等の食品については、取り分け・おすそ分けは行わないこと。
- ・大会後の会合や懇親会は行わないこと。